

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成27年1月16日(金) 東北大学本部事務機構本館第二会議室	
委員	委員長 加藤義雄 (元仙台市副市長) 委員 三輪佳久 (弁護士) 委員 手島貴弘 (公認会計士)	
審議対象期間	平成26年4月1日～平成26年9月30日	
抽出案件(合計)	4件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ての審議はなし。 「建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議」については、抽出案件に係る発注担当者が回答した。
工事(小計)	2件	
一般競争 (政府調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	1件	
通常指名競争	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	2件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・特になし	

質 問	回 答																														
<p>1. 審議対象工事及び業務の抽出について (担当委員より説明)</p> <p>・特になし</p>																															
<p>2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p><u>(1) 一般競争入札方式</u> 【(片平) 総合研究棟 (多元研N棟) 改修工事】</p> <p>・契約の概要と入札、見積の金額の経緯を説明願いたい。</p>	<p>・工事概要は、片平団地における多元研N棟（RC造、地上3階建、延面積 4,516.36 m²）の改修（耐震補強含む）である。</p> <p>・各社入札金額</p> <table border="1" data-bbox="716 1256 1337 1518"> <thead> <tr> <th>入札者名</th> <th>第1回入札価格 (円)</th> <th>第2回入札価格 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鷹觜建設(株)</td> <td>540,000,000</td> <td>525,000,000</td> </tr> <tr> <td>阿部建設(株)</td> <td>538,000,000</td> <td>530,000,000</td> </tr> <tr> <td>(株)丸本組</td> <td>辞退</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(株)ビルド</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="716 1547 1337 1809"> <thead> <tr> <th>入札者名</th> <th>第1回見積価格 (円)</th> <th>第2回見積価格 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鷹觜建設(株)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>阿部建設(株)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(株)丸本組</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(株)ビルド</td> <td>480,000,000</td> <td>457,700,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>・予定価格(入札書比較価格) 457,940,000 円</p> <p>・(株)ビルドに決定。</p>	入札者名	第1回入札価格 (円)	第2回入札価格 (円)	鷹觜建設(株)	540,000,000	525,000,000	阿部建設(株)	538,000,000	530,000,000	(株)丸本組	辞退		(株)ビルド			入札者名	第1回見積価格 (円)	第2回見積価格 (円)	鷹觜建設(株)			阿部建設(株)			(株)丸本組			(株)ビルド	480,000,000	457,700,000
入札者名	第1回入札価格 (円)	第2回入札価格 (円)																													
鷹觜建設(株)	540,000,000	525,000,000																													
阿部建設(株)	538,000,000	530,000,000																													
(株)丸本組	辞退																														
(株)ビルド																															
入札者名	第1回見積価格 (円)	第2回見積価格 (円)																													
鷹觜建設(株)																															
阿部建設(株)																															
(株)丸本組																															
(株)ビルド	480,000,000	457,700,000																													

<p>・競争参加資格に校舎や研究施設の施工実績を求めているが条件としては厳しいのか。</p> <p>・第1回入札価格と第1回見積価格との間に大きく差があることについて説明願いたい。</p>	<p>・本工事は平成26年8月1日に公告し、平成26年9月5日に開札した。3者からの参加申請があったが開札前に1者が辞退、残る2者で2回入札を行ったが予定価格に大きく及ばず不落のまま終了した。その後、1位業者と不落随意契約を目指し交渉を行ったが合意に達することができなかった。震災復興の影響で応札者確保が困難な状況の中、他の契約相手を確保すべく青葉山地区で他工事を施工中の(株)ビルドに見積の作成を打診したところ受注の意思を示したため、見積合せを行い契約締結に至った。</p> <p>・研究棟改修工事の際に求める施工実績として、一般的である。</p> <p>・(株)ビルドの見積金額が他入札参加者より低い理由として近隣で他工事を施工中のため、資材・人員の確保が容易であり工事費を抑えることができたと類推される。</p>
<p><u>(2) 随意契約方式</u> 【(星陵) オーディトリウム (地域医療研修センター) 新営その他工事】</p> <p>・契約の概要を説明いただき、入札者がいなかった理由や、見積業者の選定方法、見積金額の経緯を説明願いたい。</p>	<p>・工事概要は、星陵団地におけるオーディトリウム (地域医療研修センター) (S造、2階建て、延面積1,008.71 m²) の新営、厚生施設 (RC造、2階建て、延べ面積1,824.72 m²) の内外装改修、体育館 (S造、1階建て、1,452.25 m²) の内外装改修である。</p>

・各社入札金額

入札者名	第1回入札 価格 (円)	第1回見積 価格 (円)	第2回見積 価格 (円)	第3回見積 価格 (円)
大和ハウ ス工業㈱	辞退			
(株)ビルド		588,000,000	548,700,000	530,000,000

・ 予定価格（入札書比較価格）534,750,000 円

・ (株)ビルドに決定。

・ 本工事は平成26年2月12日に公告し、1者から参加申請があったものの開札直前にその1者が辞退し不調に終わった。震災復興の影響で応札者確保が困難な状況の中、他の契約相手を確保すべく青葉山地区で他工事を施工中の(株)ビルドに見積の作成を打診したところ受注の意思を示したため、見積合せを行い契約締結に至った。

・ 入札参加申請者の辞退理由を説明願いたい。

・ 他工事を落札する等して技術者をそちらに配置したと類推される。

・ 最終的に第1回見積金額から大幅に価格が下がっているが理由を説明願いたい。

・ 積算担当者同士の打合せを行い、一度持ち帰って検討してもらい、複数回の交渉、見積合せを経て契約締結に至ったためと考えられる。

(3) 一般競争契約

【星陵パワーセンター外ボイラー等
点検整備業務】

・契約の概要と入札金額の経緯等を
説明願いたい。

・点検整備業務となっているが、特
定の業者しか対応ができない性質の
ものか。

・複数年一括して契約した方が安く
なるのではないか。

・業務概要は、星陵団地パワーセンター外の暖房用
ボイラー設備の点検整備等を行うものである。

・各社入札金額

入札者名	第1回入札 価格(円)	第2回入札 価格(円)
川重冷熱工業(株)	26,800,000	25,900,000
(株)亀山鉄工所	29,400,000	辞退
(株)サーモエナー	28,000,000	辞退

・予定価格(見積書比較価格) 26,340,000 円

・川重冷熱工業(株)に決定。

・3者が応札し、2回の入札を経て川重冷熱工業(株)
と契約締結に至った。

・製造メーカーの整備確認を手配できればメーカー
以外の業者でも対応可能である。

・本業務は年間通じて点検を行うものではなく、運
転前の点検整備を行うものである。

(4) 随意契約方式

【医学部3号館1・2階内部改修設計業務】

・契約の概要を説明いただき、東北大学契約事務取扱細則第40条第1号（契約の性質又は目的が競争を許さないとき）にもかかわらず、5者より見積を徴収できている理由、入札に付さなかった理由を説明願いたい。

・本設計業務と同じ理由でプロポーザル方式ではなく、見積合せ方式をとるケースはあるか。

・業務概要は、星陵団地内の東北大学医学部3号館（鉄骨鉄筋コンクリート造 地上12階地下1階 14,080㎡）の内部改修設計業務である。

・設計業務は、ユーザーのニーズやスペース等の諸条件の範囲で考慮される必要があり、設計の良し悪しが使い勝手を大きく左右する業務の性質上、価格による競争がなじまない。

このため、技術提案を求め（プロポーザル方式）最も評価の高い者と、契約事務取扱細則第40条第1号「契約の性質又は目的が競争を許さないとき」に基づく随意契約を締結している。

しかしながら、震災以降設計事務所は繁忙で比較的人気のある大規模新営案件でも応募者は減少し、小規模案件においては応募者確保が非常に難しい情勢である。いずれの設計事務所も技術提案書に労力及び技術者を割いて小規模案件に応募する余裕がなくなっているものと推定され、本件についてプロポーザル方式による選定を行うことは契約相手方の決定を遅らせる恐れが高いため、見積合せ方式で実施することで参加者の負担軽減を図ったものである。

見積業者については、文部科学省の設計コンサルティング（建築）に登録した仙台市内に営業所を置く複数の設計事務所に打診し、仕様書を受け検討する意思を示した5者とした。

・震災以降、年に数件はある。プロポーザル公示したものの参加者がなく、見積合せに切り替えたケースもある。